

2025年10月 29 日
プレスリリース No.020-25

「南音と古琴が響き合う千年の調べ 中国伝統音楽のコンサート&ワークショップ」

静岡文化芸術大学では、南音と古琴が紡ぐ中国古典音楽の魅力の発信をテーマとするイベント「南音と古琴が響き合う千年の調べ 中国伝統音楽のコンサート&ワークショップ」を開催します。

古琴（こきん）は中国最古の弦楽器の一つ。古来より知識人の精神修養に用いられ、儒家が提唱する「中和」の思想や道家が追及する「無為自然」の境地を表現するなど、中国哲学と深い関わりを持っています。一方、海のシルクロードが育んだ南音（なんいん）は、琵琶や洞簫などで構成される体系的な合奏音楽。唐代の宮廷音楽の面影を残すことから「古代中国音楽の生きた化石」と称されています。

この二つのユネスコ無形文化遺産が織りなす、時を超えた音の世界へようこそ。

■開催概要

日 程 令和7年11月15日（土） 午後2時から午後3時30分

場 所 浜松市楽器博物館 天空ホール

入場料 無料（ただし、浜松市楽器博物館の入館料はかかります。）

申 込 予約不要

主 催 静岡文化芸術大学 地域連携センター

浜松市

公益財団法人浜松市文化振興財団

【プログラム】

午後2時 開会挨拶

午後2時5分 コンサート

午後3時5分 演奏体験ワークショップ

午後3時30分 閉会

【お問い合わせ】

静岡文化芸術大学 地域連携室

Tel. 053-457-6105（平日 午前8時30分から午後5時まで）

<本リリースに関する問い合わせ>

静岡文化芸術大学 地域連携室

Tel. 053-457-6105 / Fax. 053-457-6123

Email. chiiki@suac.ac.jp

本学公式 Web サイト



ユネスコ無形文化遺産

南音と古琴が響き合う 千年の調べ

中国伝統音楽のコンサート&ワークショップ

2025年11月15日(土)14時 開演

会場: 浜松市楽器博物館 天空ホール

静岡県浜松市中央区中央3-9-1 JR浜松駅北口より徒歩10分

古琴(こきん)は中国最古の弦楽器の一つ。古来より知識人の精神修養に用いられ、儒家が提唱する「中和」の思想や道家が追求する「無為自然」の境地を表現するなど、中国哲学と深い関わりを持っています。一方、海のシルクロードが育んだ南音(なんいん)は、琵琶や洞簫などで構成される体系的な合奏音楽。唐代の宮廷音楽の面影を残すことから「古代中国音楽の生きた化石」と称されています。この二つのユネスコ無形文化遺産が織りなす、時を超えた音の世界へようこそ。



・蔡雅麟 Cai Yayi

南音伝承者

上海音楽学院無形文化遺産伝承センター特任教授
長崎大学大学院多文化社会学研究科博士後期課程在学中



・陳思來 Chen Silai

南音・古琴奏者

上海音楽学院無形文化遺産伝承センター特任教授

・王維 Wang Wei (演奏曲の解説も務める)

長崎大学多文化社会学部 同大学院多文化社会学研究科長
華僑華人および南音研究

【演奏曲目】

梅花操 (南音)
望明月 (南音)
広陵散 (古琴)
流水 (古琴&簫)
風打梨 (打楽器)
八面 (南音)

【プログラム】

14:00 開会挨拶
奥中康人 (静岡文化芸術大学教授)
14:05 コンサート
15:05 演奏体験ワークショップ
15:30 閉会
司会進行 俞樸 (静岡文化芸術大学教授)

申込不要

入館料のみでご覧いただけます

お問合せ: 静岡文化芸術大学地域連携室

TEL:053-457-6105 平日9:00~17:00

FAX: 053-457-6123

Email:chiiki@suac.ac.jp

主催: 静岡文化芸術大学地域連携センター 浜松市 (公財)浜松市文化振興財団



浜松市楽器博物館
Hamamatsu Museum of Musical Instruments



公立大学法人

静岡文化芸術大学

SUAC